

7 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、平成 24 年 4 月に、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「地の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために設置された。

平成 30 年 4 月には、地域教育研究センターの部会を 5 部会から 2 部会へと再編し、共通教養教育及び生涯学習を含む地域との連携事業の充実に取り組んでいる。

(1) 共通教育部会：共通教養教育の企画運営を行う。

(2) 地域連携部会：「知の拠点」としての役割の強化や「域学共生」の推進を図ることを目的に、高知県や市町村、地域との連携体制の強化を図り、地域の人々の知の探究への支援事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行う。

事業実施状況

【履修証明プログラム】

平成 26 年度から「履修証明プログラム」を開始している。5 年目の平成 30 年度は、高知県に関する歴史、文化、環境などについての知識や教養を高めていただくために「地域学プログラム」を実施し、1 名の受講生がプログラムを修了した。また平成 28 年度から、高齢者ケアのための職業実践力育成プログラム「保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」も開始し、3 年目の平成 30 年度は 1 名の申込みがあったが、受講を辞退された。

(1) 「地域学プログラム」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
必修科目	選択科目
地域学概論	土佐の歴史と文化
選択科目	土佐の経済とまちづくり
土佐学ゼミナール	文化政策論
土佐学フィールドワーク	災害と法
土佐の自然と暮らし	観光産業論
土佐の食と健康	観光企画論
自然災害と防災の科学	NPO 論
地方自治論	土佐地域文化資源論（歴史）
地域社会と法文化	

(2) 「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
高齢者への福祉支援	生活習慣病の治療と予防チームアプローチ I
介護過程実践演習	チームアプローチ II
高齢者のフィジカルアセスメント	最新看護知識の実践への活用
認知症患者と家族への支援	高齢者福祉の現状と実践のための講座
高齢者の食生活と住環境	

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成 14 年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成 25 年度には、地域教育研究センターが「AERU 県民公開授業」を実施し、平成 26 年度からは、上記 2 つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

(1) 平成 30 年前期

延べ受講者数：50 名

提供科目：20 科目（文化学部専門科目 5 科目、共通教養教育科目 15 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
古典文学講読Ⅰ（永国寺）	3	科学と人間（池）	-
古典文学基礎講読Ⅰ（永国寺）	2	地域とグローバル化（永国寺）	6
日本文学概論（永国寺）	5	法学（永国寺）	3
中国文学講読（散文）（永国寺）	5	法学（池）	1
中国文学講読（韻文）（永国寺）	4	基礎ジェンダー学（永国寺）	2
対人関係とメンタルヘルス（池）	3	基礎ジェンダー学（池）	1
地球の科学（永国寺）	1	健康とヘルスポモーション（池）	4
環境と健康と安全（池）	1	生活と社会福祉（池）	4
基礎化学（池）	-	情報リテラシー（永国寺）	-
科学と人間（永国寺）	2	ビジネスリテラシー（永国寺）	3

(2) 平成 30 後期

延べ受講者数：62 名

提供科目：26 科目（文化学部専門科目 7 科目、共通教養教育科目 19 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
古典文学講読Ⅱ（永国寺）	2	情報処理概論（永国寺）	2
古典文学基礎講読Ⅱ（永国寺）	3	情報処理概論（池）	-
日本思想史（永国寺）	3	地球とグローバル化（池）	1
近代文学講読（永国寺）	5	栄養と健康（永国寺）	5
現代文学講読（永国寺）	5	現代人権論（永国寺）	2
対照言語学（永国寺）	3	現代人権論（池）	1
中国文学史（永国寺）	5	ジェンダーとキャリア（池）	-
文化と裁判（永国寺）	2	ジェンダーとキャリア（永国寺）	-
対人関係とメンタルヘルス（池）	1	栄養と健康（池）	4
地球の科学（池）	-	政治学（永国寺）	4
環境と健康と安全 5 限（永国寺）	4	情報リテラシー（池）	-
環境と健康と安全 7 限（永国寺）	2	生活と社会福祉（永国寺）	4
基礎化学（永国寺）	1	経済学（永国寺）	3

【高大連携事業】

(1) 小、中、高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的として、高知県内の小・中・高等学校を対象に、出前講座を実施している。

平成 30 年度延べ受講者数：1,003 名

実施校名	実施日	対象者	受講者数
土佐女子中学高等学校	6/20	高校 1・2 年生	168
香南市立野市小学校	6/23	6 年生	63
南国市立十市小学校	9/12	5 年生	56
高知県立室戸高等学校	9/20	1～3 年生	13
高知県立嶺北高等学校	10/4	1～3 年生	62
香美市立香長小学校	10/13	5 年生	16
高知県立山田高等学校	10/24	6 年生	40
高知学芸高等学校	10/26	2 年生	27
土佐女子中学校	10/31	3 年生	168
高知県立中村中学校	10/31	3 年生	61
高知県立高知北高等学校昼間部	11/2	1～3 年生	7
高知県立宿毛高等学校	12/14	2 年生	20
高知県立岡豊高等学校	2/5	2 年生	302

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

平成 30 年度延べ受講者数：330 名

	内容	実施日	対象者	受講者数
県大立志塾 2018	第 1 回「高知県の地域課題をどう認識するか」	6/9	高校生	87
	第 2 回「コミュニティの重要性～人と人がつながる仕組み～」	8/18		72
	第 3 回「高知県の観光の取り組みについて」	9/29		32
	第 4 回「地域全体で取り組もう。減災ケアの共創」	12/15		17
	第 5 回「土佐の伝統食—高知の食の特徴について—」	1/12		35
	第 6 回「コミュニティカフェをつくろう」	2/23		50
環境を化学的視点から捉える実験講座	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 1 回 マイクロスケール化学実験入門	9/1	高校 1・2 年生	3
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 2 回 「電池のしくみと起電力」	9/15		4
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 3 回 水質簡易分析法はどの程度正確か？	9/22		3
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 4 回 水質の指標としての溶存酸素	9/29		4
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 「金・銀・銅を溶かす」	1/5		11
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 「金属を溶かしたり沈殿させて分離する」	1/12		12

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民一般を対象とした公開講座を随時開催している。

平成 30 年度延べ受講者数：239 名

内容・講師	実施日	対象者	受講者数
「観光的価値の創造と地域の持続的発展」 跡見学園女子大学観光コミュニティ学科 教授 安島 博幸 氏	10/13	一般	66 (※1)
「『やさしい、おいしい』はじめよう乳和食」 料理家・管理栄養士 小山 浩子 氏 (人間生活学研究科との共催)	12/8	一般	91
第 8 回地域活性化フォーラム 「来るべき南海トラフ地震にいかに向き合うか ～正しく学び、正しく恐れ、正しく備える～」 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 科長 室崎 益輝 氏	1/14	一般	82

【第 35 回「本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

平成 26 年度までは高知短期大学と本山町で開催されていたものを平成 27 年度からは本学が引き継ぎ、高知短期大学、本山町との三者協定により開催している。

平成 30 年度延べ受講者数：180 名（第 6 回講座除く）

	「夜学」全 12 回 講座内容	実施日	対象者	受講者数
1	開校式 「土佐ことば再発見!!－正調土佐弁は今－」	5/31	本山町 民他	22
2	「植木枝盛－土佐の知、世界の知」	6/20	本山町 民他	19
3	「” 怒り ” の心理学」	7/11	本山町 民他	23
4	「土佐の伝統食 －伝えられてきた味、伝えたい味－」	9/14	本山町 民他	21
5	「地域は観光で何を得的のか」	9/27	本山町 民他	24
6	「観光的価値の創造と地域の持続的発展」 (人数は地域教育研究センター主催公開講座(※1)に含む)	10/13	本山町 民他	-
7	「元気で過ごすための正しい食生活」	10/22	本山町 民他	8
8	「認知症：正しく知って、楽しく予防」	11/26	本山町 民他	14
9	「こどもの「生きている力」と「生きていく力」を支える」	12/20	本山町 民他	11

10	「ストレスとつきあうコツ」	1/18	本山町 民他	18
11	「持ち上げない介護」	2/20	本山町 民他	10
12	閉校式 特別講演「2020 オリンピック東京大会がやってくる！」	3/19	本山町 民他	10

【立志社中】

平成 25 年度から地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせ、平成 30 年度は、7 件のプロジェクトを採択し、支援した。

平成 30 年度採択プロジェクト

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
Look again～地域と学生のパワーを蓄える～	P シスターズ	100,000 円 [100,000 円]
みんなで支えあう「共生社会」を目指して	かんきもん	200,000 円 [174,737 円]
池地域まるごとサロン活動	いけいけサロン活動	110,000 円 [42,842 円]
それいけ！大野見エコ米 ～No Rice, No Life～	COME☆RISH	298,800 円 [239,613 円]
香美市のくらしと民具 ～もの・こと・ひと～プロジェクト	from ZERO	250,000 円 [0 円※ ¹]
健援隊プロジェクト	健援隊	300,000 円 [0 円※ ²]
こどもの居場所づくり	☆こどもみらい塾☆	299,932 円 [28,380 円]

外部資金獲得状況（平成 30 年度採択プロジェクト※ 1・※ 2 の活動費として採択）

補助金名／補助団体名	プロジェクト名／チーム名	交付決定額 [実績額]
香美市学生地域活動支援事業費補助金 ／香美市	香美市の民具調査 ／from ZERO	353,000 円 [267,000 円]
香美市学生地域活動支援事業費補助金 ／香美市	健援隊プロジェクト ／健援隊	400,000 円 [230,000 円]

その他実施事業

事業名	実施時期	詳細
公開プレゼンテーション及び審査会	5/27	応募のあった 7 件のプロジェクトについて、公開プレゼンテーション及び審査会を実施。採択プロジェクトを決定。

中間報告会	10/27	各チームからプロジェクトの進捗状況を発表し、審査委員からのアドバイスや他チームの活動を知り、後半の活動につなげる機会として実施。7月に包括連携協定を締結した名古屋市立大学から2名の学生を招き、自身の取組む活動を発表していただいた。
交流会	10/27	中間報告会后に、立社社中メンバー及び審査委員や担当教員を交え開催。
第1回スキルアップセミナー 「中間報告会に向けたプレゼン方法について」 ファシリテーター：川村 晶子 氏	10/11	プレゼンをより良いものにするためのポイントを説明いただきながら、グループごとにワークショップを行った。
第2回スキルアップセミナー 「伝わる書類の作成方法について」 ファシリテーター：川村 晶子 氏	3/17	人に効果的に伝えるためのポイントについて説明いただき、ワークショップを行った。
活動成果報告会・ポスターセッション	3/17	各プロジェクトの活動を評価し、成果や課題を共有することを目的に開催。

【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成28年度に設置された。

平成30年度延べ参加者数：72名

概要	受入先	件数	参加学生数
小・中学校での学習支援	津野町教育委員会（夏季・春季）	2	36
〃	安芸市・安芸市教育委員会（夏季・春季）	2	12
〃	三原村教育委員会（夏季）	1	5
高知みらい科学館サポーター	高知みらい科学館	1	2
小津高校 SSH 事業課題研究 TA	高知県立高知小津高等学校	1	12
しらいしスクール（夏休み編）	白石地区活性化検討委員会	1	5
児童クラブ出前授業	こうち生活共同組合	1	0
ボランティアガイダンス2018	高知県ボランティア・NPOセンター 高知市市民活動サポートセンター	1	0

【包括連携協定】

(1) 新規連携協定

平成 30 年度は、新たに公立大学と包括連携協定を締結し、連携事業を行った。

①締結団体

平成 30 年 7 月 21 日協定締結 名古屋市立大学

②連携事業

(ア) 記念シンポジウムの開催

日時：平成 30 年 7 月 21 日（土） 13：30～17：00

(イ) 立志社中中間報告会において名古屋市立大学学生の地域活動について報告いただき、学生間の情報共有や交流に繋げた。

日時：平成 30 年 10 月 27 日（土） 13：30～15：40

発表者：名古屋市立大学 看護学部 4 回生、経済学部 2 回生

(2) 継続団体との連携

団体名	事業名	期間	概要	参加者等
高知市	市長と語ろう会	12/1	「若者とともに考える地方創生 ～高知での暮らし、学生だから気づく高知のこと～」をテーマに高知市の取組みについての市長説明の後、学生とのGWを行った	参加者 ・本学学生 40 名 ・清原センター長 ・高知市長、副市長、総務部長、 本学 OB の市職員
安芸市	災害復旧作業ボランティア	7/11～14	平成 30 年 7 月豪雨による災害復旧作業に係るボランティアの派遣	派遣数 ・本学学生 (院生含) 11 名 ・教職員：4 名
安芸市	安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務	5/1～3/29	人口減少・少子化が進む中、出生率向上を目指した有効な施策を展開するため、調査・研究を行い、学術的視点から効果的な対策について報告した	・清原センター長 ・文化学部 宇都宮准教授 ・文化学部 清水准教授
安芸市	学習支援ボランティア	9/3～14 2/21～3/8	CSL サポートデスク (再掲)	
香美市	香美市学生地域活動支援事業費補助金	交付日 ～3/8	香美市で地域活動をしている学生団体に対して、補助金を交付し、学生の地域活動を支援する	・健援隊 ・from ZERO
津野町	津野町町民運動会学生ボランティア	10/7	運動会当日の準備、競技参加等の学生ボランティア	・悪天候により中止
津野町	学習支援ボランティア	8/27～9/7 2/25～3/8	CSL サポートデスク (再掲)	
三原村	学習支援ボランティア	9/3～7	CSL サポートデスク (再掲)	

四万十 ドラマ	「すごい仕事を知るハズ スツア- in KOCHI」講師	3/1	COC+事業	・学生6名
------------	---------------------------------	-----	--------	-------

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行なっている。

内 容	開催時期
連携推進会議（包括連携協定の締結自治体・高知県立大学）	6/28
域学共生連携拡大会議 （県内地方公共団体及び関係団体・企業等・高知県立大学）	9/5
ご意見番会議 （地域で協力いただいている団体・高知県立大学）	11/30、2/12